

一般質問 管原研治議員 2項目を問う



管原研治議員

問 農地近接の林地整備による獣害対策を。

答 モデル地区を設定し検討したい。

問 消防旧関班詰所跡地の再利用計画は。

答 売却を含め具体的な計画は考えていない。

一般質問 吉田修議員 2項目を問う



吉田修議員

問 放射能廃棄物の処理について町の考えは。

答 試験混焼の結果を見て判断したい。

問 有害鳥獣対策の強化について考えは。

答 次年度に向け雇用人員の増員を検討したい。

放射能廃棄物の処理

問 村井知事が11月3日の市町村会議で、保管されている8000ベクレル以下の放射能廃棄物と一般廃棄物を混ぜ、一斉焼却処分する方針を打ち出した。例えば混焼しても年間の処理能力に限界があり、処理に長い年月と莫大な費用がかかる。このような観点から見解を伺う。

答 ①県が指導するのは放射性物質汚染対処特別措置法に反するのではないかと。県が35市町村足並みを揃えろという押しつけは特措法に反するのではないかと。
②試験焼却前のセシウムと焼却後の飛灰、セシウムを測定して比較する物質収支を評価しておらず、排気ガスのセシウム濃度だけで測定していること。
③どのような形で住民合意を捉えていくのか。

問 ①については自治体の責任において処理することになり、特措法に反するものではないと考える。

答 ②については排ガス中のセシウムは99.9%を超える除去率となる結果が公表されており安全に処理されると考えている。
③については11月2日から12日まで開催した町民と語る回の中で説明をしており、町民の理解を得たものと考えている。

問 他の複数混焼評価報告と環境省の混焼データの開きがあるが、この見解について伺う。

答 試験混焼を実施して安全な数値を確認し、結果を見て判断したい。

有害鳥獣対策

問 サル追い払い隊のメンバー増員と駆除隊の強化が必要ではないか。

答 次年度に向けて雇用の増員を検討したい。隊員の強化については、免許取得後ある程度の経験が必要なことから時間がかかる。

問 狩猟免許取得の補助金を全額助成できないか。

答 有害鳥獣駆除隊員になることを条件に必要な経費分の助成を行いたいと考えている。

問 サル追い払い隊は冬期間仕事がなくするため、通年雇用できる体制が必要ではないか。

答 冬期間はスキー場、除雪関係の仕事ができる雇用方法を考えている。

近接林地の整備と警戒システム改良を

問 イノシシ被害が急増し住民の安全にも配慮が必要。行政支援で農地近接の林地を伐採し獣害対策を図れないか。

答 森林再生プラン計画に基づき道端林業を試験的に行う。農地近接の林地伐採もモデル地区を設定し検討したい。

問 兵庫県香美町小代地区では、野生動物育成林の整備で県からの補助を受け対応している。町では多方面に調査しているのか。

答 現在、宮城県ではないと認識している。林地整備で猿、イノシシの被害が減れば、有害鳥獣対策事業として県に提案したい。

問 接近警戒システムを指向性システムへの改良や威嚇拡声器の林地内増設など工夫すべきではないか。

答 現在の警戒システムの改良は難かしく、新たな設置は多額な費用を要する。拡声器の林地内増設が可能か地域の方や専門家と検討したい。

問 地域を守る、住民を守るため、徹底して事業検証できるものを導入すべきではなかったか。

答 できるだけ多くの農地を守る方向で今後とも考えていきたい。

消防旧関班詰所跡地の再利用は

問 旧関班詰所の再利用を地区で陳情したが解体され更地となっている。

答 町では土地の再利用や売却など、どのように考えているのか。

問 土地の面積が非常に狭い敷地で、ごみ集積所としての利用も考えられるが、現在、施設の建設などは考えていない。

答 関地区の憩いの場や防災活動施設については、今後の課題として検討したい。

問 売却も模索しているのか。

答 不要存地となれば隣接の方への声掛けもできるが現在は考えていない。



▲有害鳥獣接近警戒システム